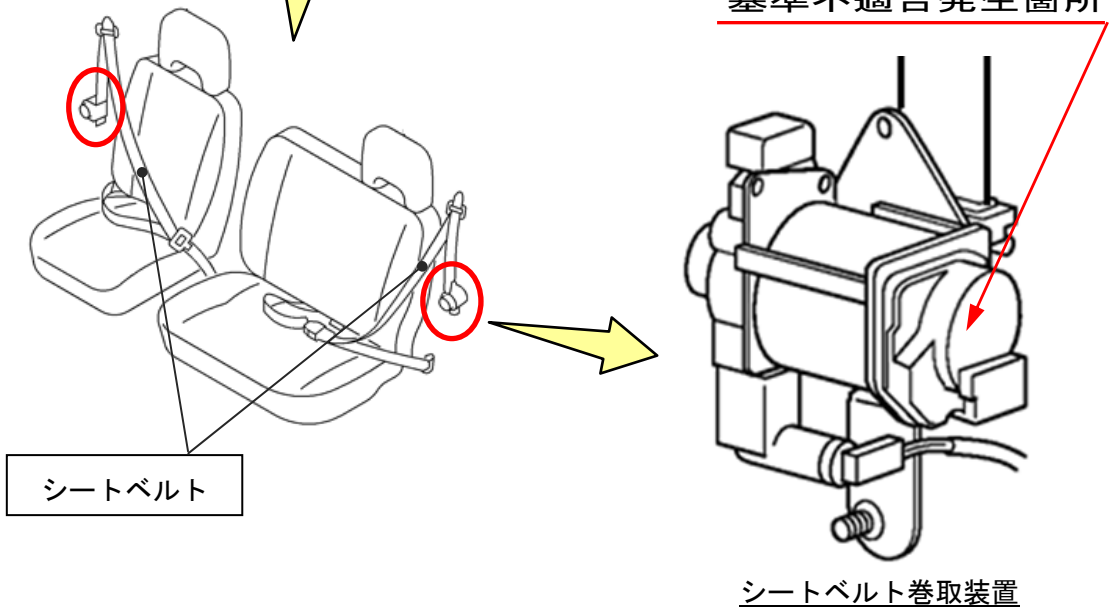


改善箇所説明図②



小型トラックと大型バスの運転席または助手席用シートベルトにおいて、巻取装置内部のロック機構部の製造方法が不適切なため、圧入部が緩み、シートベルト脱着時に異音や引っ掛かりが発生するおそれがある。そのまま使用を続けると、最悪の場合、圧入部品が外れ、衝突時にシートベルトのロックが作動しなくなる。

改善措置の内容

全車両、当該シートベルトを点検し、圧入部が緩んでいないものは、当該巻取装置の内部に緩み対策部品を取り付ける。圧入部が緩んでいるものは、当該シートベルトを良品に交換する。

注：□は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に「LT122」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近

バス：車両左後方点検リッド裏